

提 供 資 料

平成29年12月5日
交 通 企 画 課

横断歩道上の交通事故防止

～ 山陰路 交通死亡事故「0」プロジェクト実施中 ～

～ 年末は、自動車は「横断歩道では歩行者絶対優先」、「ハイビームの活用」を忘れずに ～

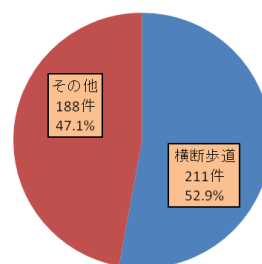
鳥取県警察では、交通死亡事故が増加する傾向にある11月、12月の2か月間、「山陰路 交通死亡事故「0」プロジェクト」と称して、島根県警察と合同で「前照灯の早期点灯とハイビームの活用」、「歩行者保護と反射材の着用」等を県民へ呼びかけています。

例年、12月は、横断歩道横断中の交通事故が増加しますので、車両運転者の皆様は、横断歩道上における交通事故に十分注意してください。

- 過去5年間（平成24～28年）の横断歩道上における車両と歩行者の交通事故を分析した結果、
 - ・ 道路横断中の交通事故399件中、横断歩道上での事故が211件（52.9%）と半数以上を占める
 - ・ 12月が31件（14.7%）と最も多く、時間別では、17時、18時台の薄暮時間帯に多発
 - ・ 金曜日が46件（21.8%）と、他の曜日と比較して多い
 - ・ 車両が右折する際に116件（55.0%）発生し、左折時（13件）の約9倍に及んでおり、直進時（76件）を合わせて、全体の9割以上を占める
 - ・ 死傷者は、年代別で見ると60代と70代が多い等の傾向が認められました。
- 車両運転者は、
 - ・ 横断歩道上は、歩行者が絶対的に優先されるゾーンで、車両運転者は、歩行者の通行を妨げない義務があることを再認識する
 - ・ 特に右折する際には、右折した先の横断歩道上に歩行者がいないかしっかりと確認する
 - ・ 日没30分前の午後4時30分頃には前照灯を点灯するとともに、ハイビームのこまめな切り替えを習慣付けるようお願いします。

1 道路横断中の交通事故発生状況（過去5年間（平成24～28年））

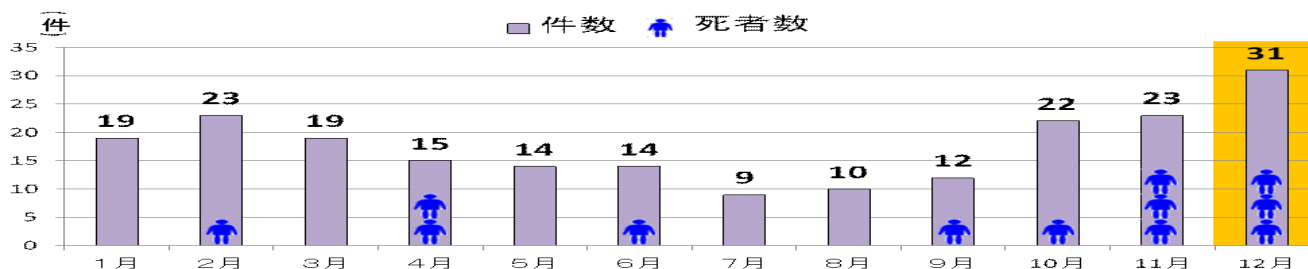
	横断歩道	その他	合計
件数(件)	211	188	399
死者(人)	12	28	40
負傷者(人)	208	162	370



○ 過去5年間で、道路横断中の歩行者被害の交通事故は399件発生し、うち、横断歩道上が211件（52.9%）

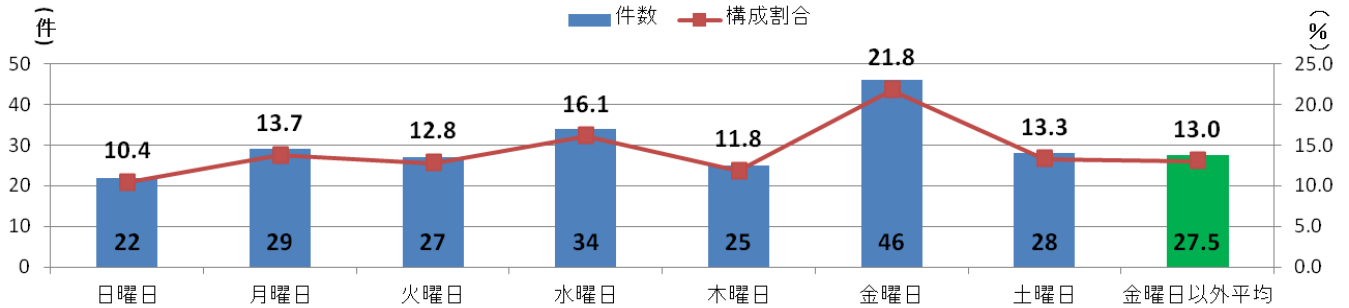
2 横断歩道上の交通事故発生状況

(1) 月別発生状況



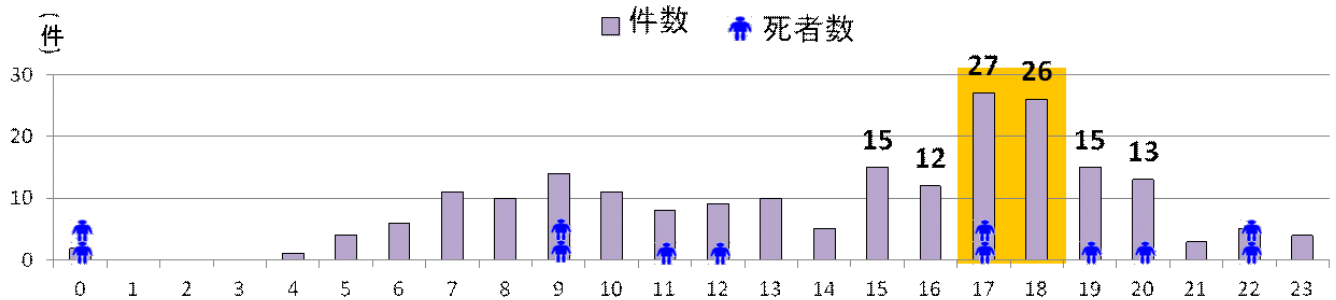
○ 12月が31件（14.7%）と最多

(2) 曜日別発生状況



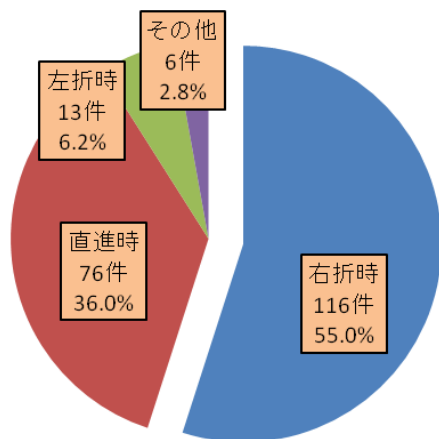
○ 金曜日が46件 (21.8%) と最多。金曜日以外の平均13.0%と比較して8.8ポイント高い

(3) 時間別発生状況



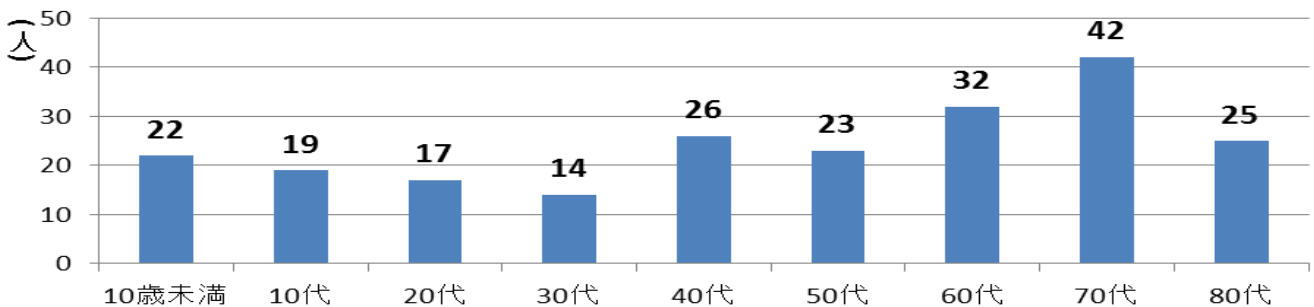
○ 17時台に27件 (12.8%)、18時台に26件 (12.3%) と薄暮時間帯に多発

(4) 車両の進行方向別構成割合



○ 車両が右折する際に116件 (55.0%) 発生し、左折時の13件 (6.2%) の約9倍に及び、直進時の76件 (36.0%) を合わせると、全体の9割以上を占める

(5) 年代別の横断歩道上の死傷者数



○ 年代別で見ると、60代と70代が多い